



栃木国体での誘致競技種目は

薄井博光

町 開催希望種目を3種類県へ提出

問 2022年・栃木国体における当町開催種目の誘致について、現在の状況は。

生涯学習課長 1980年の栃木国体は、那須町においての開催種目はなく、今回は事前の意向調査でソフトボール・自転車ロードレース・ゴルフの3種目を

開催希望として提出した。

問 ソフトボールは全国大会において、田中・黒田原フレンズが優勝するなど当町を代表するスポーツであり誘致は。

生涯学習課長 ソフトボールは単独開催が望ましいが広域的に近隣の市と連携開催も可能であり県にそのよ

うな文章を提出した。

問 ソフトボールの誘致にあたっては競技場準備等も必要と思うが。

環境課長 開催種目が決まれば現有施設でも開催可能であるが、万全の体制をとる閉校となる学校等の利活用も視野に入れ施設の整備をしていく。

人口減少・少子化対策と子育て支援は

町 来年度以降は踏み込んだ政策に取り組み

問 消滅の可能性がある自治体に数えられた当町にとって早急に少子化対策の効果ある政策実施は。

町長 何をおいてもやるべきことが少子化対策である。来年度以降は人口減少、少子化対策に少し踏み込んだ政策に取り組む。

問 新設されたことも未来課今年度の中心となる事業は。

問 保育園児の体調管理・安全を考え早急に保育室のエアコン設置を望むが。



子ども未来課長 子供・子育て支援法に基づき保育時間の拡充等保育サービスの充実を図っている。子育て支援ヘルパー派遣・子育て応援メールマガジン配信等各種事業を計画的に推進している。

子ども未来課長 現状は0歳から2歳児用の保育室は全室設置済みであるが、3・4・5歳児用の保育室は50%の設置である。今後、計画的にエアコン設置に取り組む。



子育て支援の拡充を



当町を代表するスポーツ、ソフトボール